

枚方市文化芸術振興計画の進捗状況
[令和3年度分 総括]

案

施策の柱 I 文化芸術活動を通じて交流するまち

基本的な施策	1. 市民の文化芸術活動の機会の充実
取り組みの方向性	■市民の積極的な文化芸術活動を支援し、世代間や地域社会での交流を深め、活動の場を広げます。

〈令和3年度の主な取組実績〉

①<<新規>>文化芸術活動の拠点施設での優れた文化芸術事業の実施（文化生涯学習課）

令和3年8月に開館した総合文化芸術センターで、音楽や演劇、伝統芸能など56の事業を実施しました。

- ・市文化芸術アドバイザーによるオープニング企画事業

辰巳満次郎氏（古典芸能）	辰巳満次郎「船弁慶」×野村萬斎「末廣かり」
市川克明氏（音楽）	「ひらかたジュニア吹奏楽団“WINDS”」の育成や開館記念公演での演奏
平田オリザ氏（演劇）	演劇公演「東京ノート」
わかぎゑふ（演劇）	演劇公演「12人のおかしな大阪人～2021」

- ・本市と連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団による特別公演などの開館記念公演
- ・演劇や伝統芸能など様々な分野の文化芸術事業の実施

②<<新規>>市民総合文化祭及び枚方市展の開催（文化生涯学習課）

- ・生涯学習市民センターなどで行われている市民の日ごろの文化芸術活動の発表機会の提供とジャンルを超えた交流や賑わいを創出するため、「市民総合文化祭」を総合文化芸術センターで実施し、舞台部門（合唱、吹奏楽、演劇、人形劇（新型コロナウイルスで中止）、三曲、舞踊（日本舞踊）、落語、）、展示部門（絵画、書道、写真）、短歌・俳句部門（短歌・俳句）の計3部門11ジャンルの発表を行いました。
- ・公募選抜美術工芸展である「枚方市展」を総合文化芸術センターで初めて開催し、日本画、洋画・版画、書、彫塑・立体、工芸、写真の6部門に市内外から406点の応募があり、入選作品201点を展示しました。

③<<新規>>文化芸術振興に係る基金制度の活用（文化生涯学習課）

- ・枚方市植村猛アート基金を活用し、総合文化芸術センターの美術ギャラリー及び市所蔵作品展示スペースで使用する展示ケースを購入し、設置しました。

〈今後の課題等〉

市民総合文化祭において、ダンスや大道芸等の出演要望があったことを踏まえ、募集ジャンル（11ジャンル）の拡大を検討する必要がある。

基本的な施策	2. 子どもや若い世代の文化芸術活動の機会の充実
取り組みの方向性	<p>■子どもや若い世代が優れた文化芸術を鑑賞し、体験する機会の充実により、子どもたちの感性や想像力を育みます。</p> <p>■子どもや若い世代が自ら積極的に文化芸術を創作し、発表する機会の充実を図ることで、子どもたちのやる気や励みにつなげます。</p> <p>■子どもや若い世代を対象とした市民の文化芸術に関する活動を支援します。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①<<新規>>中高生演劇ワークショップの開催（文化生涯学習課）

- ・一般財団法人地域創造の助成を受け、枚方市出身の劇作家ごまのはえ氏の指導による中高生向けの演劇ワークショップを実施し、11人が参加しました。

②小学生演劇ワークショップの開催（文化生涯学習課）

- ・市文化芸術アドバイザー・平田オリザ氏を講師に、演劇の手法を用いて子どもたちの表現力やコミュニケーション能力の向上を図る「コミュニケーション授業」を、市内の6小学校で実施しました。

③高校演劇地区大会会場の提供(文化生涯学習課)

- ・大阪府高等学校演劇研究大会のD地区（主に北河内地区）大会の会場として、南部生涯学習市民センターのホール等を会場として提供しました。

④ジュニアブラスバンド育成事業の実施（文化生涯学習課）

- ・市文化芸術アドバイザー・市川克明氏の企画事業により令和2年度に結成した「ひらかたジュニア吹奏楽団“WINDS”」において、プロによる楽器指導のもと練習を重ね、令和3年9月の総合文化芸術センター開館記念公演において、大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーとの共演による演奏を行いました。また、令和4年3月には、同センターで演奏会を開催しました。

⑤枚方市少年少女合唱団事業の実施（子ども青少年政策課）

- ・枚方公園青少年センターを拠点に活動している「枚方市少年少女合唱団（小学3年生から高校3年生）」が、令和3年9月に定期発表会を総合文化芸術センターで開催し、594人の来場がありました。

〈今後の課題等〉

ジュニアブラスバンド育成事業等、総合文化芸術センターの開設に伴って、新たに取り組むこととなった事業の定着化を図るため、事業継続に向けた取り組みを進めていく必要がある。

基本的な施策	3. 学校教育における文化芸術活動の機会の充実
取り組みの方向性	<p>■学校と連携し、文化芸術活動の拠点施設（現市民会館・（仮称）総合文化芸術センター）で、優れた文化芸術を鑑賞し、伝統文化等に対する理解を深める機会の充実に取り組みます。</p> <p>■学校において、学年に応じた文化芸術に関する体験学習等を実施し、文化芸術教育の充実に取り組みます。</p> <p>■芸術家等と学校や学校を支える団体との連携に対し、必要な協力や支援を行います。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①中学校オーケストラ鑑賞事業（文化生涯学習課・教育指導課）

- ・全市立中学校の1年生を対象に、連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団の生演奏を本格的なホール空間（総合文化芸術センター）で体験してもらう事業。

新型コロナで中止

②小学校アウトリーチ事業（文化生涯学習課）

- ・「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を小学校に派遣し、小学5・6年生を対象に文化芸術の実演を体験する事業。

新型コロナで中止

③枚方市小学校合同音楽会（教育指導課）

- ・小学校在籍中に、全ての児童が一度は本格的なホールの舞台（総合文化芸術センター）に立つ経験をするための事業。

新型コロナで中止

④市内公立中学校生徒美術展（教育指導課）

- ・本市の中学校美術教育の充実を図るとともに、市民の中学校美術教育への理解を深めることを目的に、「第39回市内公立中学校生徒美術展」を総合文化芸術センターで実施しました。

⑤枚方市立幼稚園児絵画展（公立保育幼稚園課）

- ・本市の幼児教育の充実を図るとともに、市民に広く公立幼稚園の教育内容を発信するため、「枚方市立幼稚園児絵画展」をふれあいホールで実施しました。

〈今後の課題等〉

「中学校オーケストラ鑑賞事業」を継続的に実施していくため、教育委員会と連携しながら、生徒の移動手段の確保などの課題解決を図っていく必要がある。

基本的な施策	4. 障害者等が活発に文化芸術を行うことができる環境の整備
取り組みの方向性	■障害者や高齢者、子育て中の保護者などで配慮が必要な方など、誰もが活発に文化芸術活動を行い、その活動を通じた交流を行うことができる環境を整え、ニーズの把握に努めます。

〈令和3年度の主な取組実績〉

①《新規》ミュージック・シェアリングとの連携事業（文化生涯学習課）

令和3年11月に連携協定を締結した枚方出身の世界的ヴァイオリニストの五嶋みどり氏が理事長を務めるNPO法人「ミュージック・シェアリング」との連携事業を実施しました。

- ・大阪府立むらの高等支援学校の生徒と五嶋みどり氏による合同コンサートに向け、同法人協力アーティストを講師に迎え練習を行いました。
- ・「枚方支援学校」「ひらかた子ども発達支援センター」において、同法人協力アーティストによる演奏会を実施しました。

②ロビーを活用したコンサート（ライブ）（長寿・介護保険課、健康福祉総務課）

- ・総合福祉センターや総合福祉会館のロビーを活用し、音楽演奏やライブを開催し、施設を訪れた利用者が気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を提供しました（総合福祉センター15回開催、総合福祉会館5回開催）。

③各地域子育て支援拠点での乳幼児の親子向けの事業（私立保育幼稚園課）

- ・市内の保育園や保育所等の計13か所の施設で実施している地域子育て支援拠点事業において、ハロウィン制作やクリスマス制作等のイベントを開催し、乳幼児親子が文化芸術に触れる機会を提供しました。

（令和3年4月18日～9月30日のイベントや子育て講座等は新型コロナで中止）

④文化自主発表会（長寿・介護保険課）

- ・総合福祉センターで、活動団体が日頃の成果を披露するために毎年開催している文化祭（文化自主発表会）を10月14日～17日の期間で開催し、展示の部に1,534人、発表の部に467人、体験の部に145人、ロビーコンサートに258人の来場がありました。

〈今後の課題等〉

引き続き、障害者等が文化芸術に触れることができる事業等が少ないことを踏まえ、拡大に向けて各種事業を展開していく必要がある。

基本的な施策	5. 国内及び国外の文化芸術活動を行うものとの連携及び交流
取り組みの方向性	<p>■他都市の文化施設との連携により創造発信事業や優れた鑑賞事業に取り組み、より効率的、効果的に事業を実施します。</p> <p>■様々な分野の文化芸術団体の相互交流を促進します。</p> <p>■文化芸術を通じた友好都市交流に取り組み、都市交流や国際文化理解を深めます。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①<<新規>>他都市の施設と連携した文化芸術事業の実施（文化生涯学習課）

- ・神奈川県が設置した KAAT 神奈川芸術劇場と連携し、同劇場がプロデュースする現代演劇「近松心中物語」を総合文化芸術センターで開催しました。

②<<新規>>海外の優れた芸術家による文化芸術事業の実施（文化生涯学習課）

- ・枚方市出身で世界的ヴァイオリニストである五嶋みどり氏によるヴァイオリン・リサイタルを総合文化芸術センターで開催する事業。新型コロナで中止

③【再掲】<<新規>>市民総合文化祭の開催（文化生涯学習課）

- ・「市民総合文化祭」の実行委員会を各団体で構成し、意見交換を行うなど、団体相互の交流促進を行いました。

〈今後の課題等〉

アフターコロナを見据え、引き続き、様々な都市や文化芸術団体との連携に向けた取り組みを進めていく必要がある。

施策の柱 II 文化芸術を育み、発信するまち

基本的な施策	1. 文化芸術に対する市民の関心及び理解を深めるための普及啓発
取り組みの方向性	<p>■気軽に参加できる様々な文化芸術を鑑賞する機会の充実を図り、市民の観たい、聴きたい気持ちに働きかけます。</p> <p>■公共施設などにおけるアウトリーチ活動により、意図せず文化芸術に触れ、楽しむことができる空間を作ります。</p> <p>■文化芸術を学び、体感する機会を提供し、文化芸術に対する理解を深めます。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①<<新規>>気軽に参加できる文化芸術事業の実施（文化生涯学習課）

- ・大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーによる公演や枚方ゆかりの若手アーティストによるコンサート等、ワンコインで気軽に参加できる事業を総合文化芸術センターで実施しました。

②公共施設のロビーなどにおけるコンサート（中央図書館）

- ・中央図書館玄関ホールにおいて、市アーティストバンクに登録しているアーティストを活用したライブラリーコンサートを3回実施しました。

③解説付きの文化芸術鑑賞事業の実施（文化生涯学習課）

- ・総合文化芸術センターで開催した「枚方シテリオペラ」において、日本語字幕付きでの上演とするとともに、解説付きのプログラムを作成しました。また、関西フィルハーモニー管弦楽団との共催により解説付きのクラシックコンサートを開催しました。

④【再掲】中学校オーケストラ鑑賞事業（文化生涯学習課・教育指導課）

- ・全市立中学校の1年生を対象に、連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団の生演奏を本格的なホール空間（総合文化芸術センター）で体験してもらう事業。

新型コロナウイルスで中止

⑤【再掲】アウトリーチ事業（文化生涯学習課）

- ・「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を小学校に派遣し、小学5・6年生を対象に文化芸術の実演を体験する事業。

新型コロナウイルスで中止

〈今後の課題等〉

総合文化芸術センターの事業をはじめ、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深めるための普及啓発事業を、引き続き取り組んでいく必要がある。

基本的な施策	2. 特色ある文化芸術の創造に対する支援
取り組みの方向性	■特色ある文化芸術の創造を支援することで、まちの魅力を創出し、市民のまちへの愛着を深めます。

〈令和3年度の主な取組実績〉

①本市の歴史や風土、伝承文化などの地域資源を題材とした事業（文化財課）

- ・枚方宿鍵屋資料館で、菊人形の部品や制作道具の展示、枚方の歴史の紹介等の企画展などの伝統文化イベントを複数回実施しました。
- ・旧田中家鋳物民俗資料館で、鋳造、七宝、彫金、バーナーワーク講座等を多数開催しました。

②【再掲】〈新規〉市民総合文化祭の開催（文化生涯学習課）

- ・特色ある文化芸術創造支援の取り組みとして、「市民総合文化祭」で市民等の発表機会の提供を行うとともに、同文化祭を各文化芸術団体と連携・協力し開催しました。

③【再掲】枚方シティオペラの開催（文化生涯学習課）

- ・総合文化芸術センターで、芸術家と市民がともに舞台公演を創り上げる舞台「枚方シティオペラ」を開催しました。

④枚方歴史物語「火炎の蝦夷、阿豆流為」（文化生涯学習課）

- ・枚方の伝承文化を題材にした文化芸術事業として、総合文化芸術センターで市内文化芸術団体との共催で実施しました。

〈今後の課題等〉

オルタナティブスペース（施設本来の目的ではなく、文化芸術のために使用するスペース）の確保が困難であるため、芸術家に対して違った形での創造に対する支援を検討する必要がある。

基本的な施策	3. 文化芸術の振興に関し功績があったものに対する顕彰
取り組みの方向性	■文化芸術に関し功績があった人や優れた文化芸術活動を行っている芸術家等に対して顕彰を行い、奨励するとともに、その活動を広く発信します。

〈令和3年度の主な取組実績〉

①市民文化賞の贈呈（総務管理課）

- ・「第23回日本ジュニア管打楽器コンクールアンサンブル部門 木管の部」で金賞（最優秀な成績）を受賞された関西創価小学校に市民文化賞を贈呈しました。

〈今後の課題等〉

文化芸術に係る新たな顕彰の創設に向けた基準の整理が必要である。

基本的な施策	4. 事業者、大学及び団体等が行う文化芸術に関する地域貢献活動の促進
取り組みの方向性	<p>■事業者や大学、団体等が行う文化芸術活動支援(メセナ活動)に対する機運を高めます。</p> <p>■事業者や大学、団体等と連携し、新たな魅力づくりや魅力ある文化芸術事業に取り組みます。</p> <p>■学園都市ひらかたの特色を活かし、市と大学が連携した取り組みを推進します。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①ひらかた工芸展の開催（文化生涯学習課）

- ・枚方工芸会会員の作品展示及び市民公募展示を行う「ひらかた工芸展」を枚方工芸会との共催により、総合文化芸術センターで実施しました。

②ひらかた人形劇フェスティバルの開催（文化生涯学習課）

- ・枚方人形劇連絡会と連携し、市内外の人形劇団の発表・交流等を目的とした「ひらかた人形劇フェスティバル」を牧野生涯学習市民センターで開催する。新型コロナで中止

③ひらかた市民大学、子ども大学探検隊（文化生涯学習課）

- ・市内大学との連携により、市民を対象に学習機会を提供する「ひらかた市民大学」を5大学で実施するとともに、市内の小学生を対象とした「子ども大学探検隊」を2大学で実施しました。

④〈新規〉市と事業者、大学、団体等と連携した文化芸術事業の実施（文化生涯学習課）

- ・総合文化芸術センターのネーミングライツパートナーである「枚方信用金庫」が、地域の文化芸術の振興に貢献するため、パートナーメリットを活用し、「第1回ひらしん美術展」として「吉向松月窯」を開催されました。

〈今後の課題等〉

アートマネジメントの人材育成について、市内に芸術大学等が存在しないため、教育研究機関だけでなく事業者や民間の専門人材等との連携も含めた取り組みを検討する必要がある。

施策の柱 Ⅲ 文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

基本的な施策	1. 文化芸術活動の拠点施設の整備及び活用
取り組みの方向性	<p>■(仮称)総合文化芸術センターを整備し、文化芸術活動の拠点施設として活用するとともに、生涯学習市民センターなどの地域の文化芸術活動を支える施設との連携により効果的な事業運営を行います。</p> <p>■市所蔵の美術工芸品を保存・公開等を行う観点を踏まえて、美術館を含む本市の美術施策の推進に関する基本的な考え方をまとめます。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①総合文化芸術センターの整備（施設整備室、文化生涯学習課）

- ・平成30年10月から建設工事に着手した総合文化芸術センターについて、令和3年5月に竣工、令和3年8月30日に開館しました。また、同センター別館（旧メセナひらかた会館）は令和3年10月から令和4年3月までリニューアル工事を実施し、令和4年4月1日に再オープンしました。

②【再掲】〈新規〉文化芸術活動の拠点施設での優れた文化芸術事業の実施

（文化生涯学習課）

- ・令和3年8月に開館した総合文化芸術センターで、音楽や演劇、伝統芸能など、56事業を実施しました。

③【再掲】〈新規〉市民総合文化祭の開催（文化生涯学習課）

- ・生涯学習市民センターなどで行われている市民の日ごろの文化芸術活動の発表機会の提供とジャンルを超えた交流や賑わいを創出するため、「市民総合文化祭」を総合文化芸術センターで開催しました。

〈今後の課題等〉

総合文化芸術センターの充実した施設運営を行うとともに、同センターを中心に地域の活動を支える施設である生涯学習市民センター等との連携について、枚方市や総合文化芸術センター、生涯学習市民センター等で構成する「枚方市文化振興連絡会議」の意見も含め検討を進めていく必要がある。

基本的な施策	2. 文化芸術活動の拠点施設における専門的能力を有する者の確保及び育成
取り組みの方向性	<p>■(仮称)総合文化芸術センターにおいて、文化芸術事業を行うために必要な専門的能力や知識を有する者の確保・育成に努めます。</p> <p>■他都市で優れた施設運営を行う文化施設と連携した研修等の実施により、(仮称)総合文化芸術センターの運営に携わる職員の資質向上に努めます。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①専門性を有する人材の配置と育成等（文化生涯学習課）

- ・総合文化芸術センターの指定管理者の公募の際に仕様で示した、「専門性を有する人材の配置と育成等」に基づき、指定管理者において、他の文化芸術施設で運営を経験している人材を配置するなどして、センターの運営を行うとともに、全国の文化芸術施設の職員等が集まる研修会に参加する等、職員の資質向上に努めました。

〈今後の課題等〉

美術行政のさらなる推進を図るため、文化生涯学習課等において、長期雇用の学芸員資格を有する専門人材の配置を検討する必要がある。

基本的な施策	3. 地域における文化芸術の振興を支える人材の育成
取り組みの方向性	<p>■市民と芸術家や文化施設をつなぎ、地域において様々な形で文化芸術の振興を支える人材を育成します。</p> <p>■将来を見据えた文化芸術の振興に向け、芸術家を発掘し、育成に関する支援を行います。</p>

〈令和3年度の主な取組実績〉

①枚方市若手芸術家支援事業 アート・sproutシリーズ（文化生涯学習課）

- ・（パフォーマンスアーツ）

枚方市アーティストバンクに登録している枚方市ゆかりの実力ある若手アーティストの実践の場の提供として、パフォーマンスアーツによる公演を総合文化芸術センターで2回実施しました。

- ・（ビジュアルアーツ）

枚方市にゆかりがある若手芸術家の発表の機会の提供として、ふれあいホールで版画展を開催しました（150点を展示）。

②【再掲】小学校アウトリーチ事業（文化生涯学習課）

- ・若手芸術家の育成及び子どもたちの文化芸術鑑賞の機会の提供として、「枚方市アーティストバンク」に登録する若手芸術家を小学校に派遣し、小学5・6年生を対象に文化芸術の実演を体験する事業。新型コロナで中止

③市民を対象としたワークショップ（文化生涯学習課）

- ・人形劇の裾野を広げていくため、「人形劇講習会」の初級講座を12回、中級講座を1回開催するとともに、御殿山生涯学習美術センターにおいて、美術関連実技講座を3講座開催しました。

④舞台照明実技講習会（子ども青少年政策課）

- ・枚方公園青少年センターで、照明の基本操作を学ぶ講習会を2回開催し、13人が参加されました。

※音響の基礎から機器の操作方法等を学ぶ音響講習会は新型コロナで中止

〈今後の課題等〉

若手芸術家の育成事業や各生涯学習市民センターでのワークショップ等、引き続き、文化芸術の振興を支える人材育成等に取り組んでいく必要がある。

基本的な施策	4. 文化芸術に関する情報の収集、蓄積及び発信
取り組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■文化芸術に関する各種情報を積極的に発信し、市民や文化芸術団体とそれらの情報を共有します。 ■本市で培われた文化芸術や本市ゆかりの美術作品等を次世代へ引き継ぐという観点を踏まえ、継続的な研究・保存・公開に取り組めます。 ■市民ニーズに応じた多様な情報発信手段により、効果的に情報を届けます。

〈令和3年度の主な取組実績〉

①《新規》総合文化芸術センター情報誌の発行（文化生涯学習課）

- ・総合文化芸術センターの施設や事業の紹介等を行う情報誌「H-Arts」を創刊し、年4回発行しました。

②生涯学習市民センター情報誌の発行（文化生涯学習課）

- ・各生涯学習市民センターの施設や事業の紹介等を行う情報誌「センターだより」を、それぞれの施設で年12回発行しました。

③枚方市ゆかりの作家の作品の保存・公開（文化生涯学習課）

- ・御殿山生涯学習美術センターでの大阪美術学校に関連する作品展示や市役所別館1階ロビー空間での市所蔵作品の展示等を行いました。
- ・総合文化芸術センターに市所蔵展示スペースを新たに設置し、市所蔵の美術作品を公開しました。

〈今後の課題等〉

本市で培われた文化芸術や本市ゆかりの美術作品等を次世代へ引き継いでいくため、コンサートや展覧会の開催情報等の各種情報や作品・関連資料のアーカイブ化に向けた検討を進めていく必要がある。